

【事例 H25-01-18】長崎県

若者向け自殺予防対策事業【長崎県】 ＝ホームページ「みんなの情報交差点 カチッ！」開設＝

若年者が自殺に関する正しい情報を得やすくすることで、若年者が生活上の困難・ストレスに直面した時の危機管理能力を高めるため、若者がアクセスしやすいインターネット環境を活用したホームページ「自殺「みんなの情報交差点カチッ！」」を開設した。

【実施主体】長崎県

【大綱の分類】子ども・若者への対応

【事業予算】平成24年度 630千円

【利点】若者に身近なインターネット環境を活用したアプローチが可能である。

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

- ・本県の自殺者数は、平成10年に379人と急増し、平成15年が449人と最も多くなっている。平成23年は320人となり、平成19年から平成23年までの自殺者数をそれ以前の5年間と比較すると13.4%少なくなるなど、全体として減少傾向を示しているが、依然として1日におよそ1人の方が自殺で亡くなられるという深刻な状況が続いている。
- ・自殺者の特徴としては、60歳代が最も多く全自殺者数の20.7%、次いで50歳代、40歳代の順である。30歳代までの自殺者数は全自殺者数の20%程度を占め、常に、ある一定数の割合で若年層の自殺者が存在している状況である。
- ・国の「自殺総合対策大綱」を踏まえ、平成20年3月に「長崎県自殺総合対策5カ年計画」が策定され、関係機関・団体が連携協力した総合的な自殺対策の取り組みを実施している。
- ・自殺対策について幅広く専門的立場から協議・検討を行う場として設置された長崎県自殺対策専門委員会において、平成22年度に若年層の自殺対策について議論され、若者に身近なインターネット環境を活用したアプローチを行うことが望ましいとの結論が出た。
- ・そこで、平成23年度「自殺予防対策ウェブサイト構築ワーキンググループ」での検討を踏まえ、平成24年度に「みんなの情報交差点カチッ！」を開設した。若年者が自殺に関する正しい情報を得やすくすることで、若年者が生活上の困難・ストレスに直面した時の危機管理能力を高めることを目的としている。

【計画を立てる上での工夫・等】

- ・若者がアクセスしやすいホームページを作成する。
1. 自殺対策や行政というのを薄く敷居を低くするため、県のホームページからは独立したものとし（サーバは「外部サーバ」を利用）、タイトルも「みんなの情報交差点 カチッ！」とした。
 2. 若者が親近感を覚えるような情報案内役等のキャラクターを設定するなどし、若者が感覚的にコンテンツに入っていけるよう工夫した。

- ① サイトを訪れた若者が自分に近いような4つのタイプのキャラクターを選ぶとその人に合った情報につながるようにした。
 - ② 誰もが身近でイメージしやすい保健室をワンクリック保健室として設定し、そこにいる4人のキャラクターが情報案内役となり、利用する若者をナビゲートするようにした。
- ・また、コンセプトとしては、“ややこしい人生、時には「死んでしまいたい」と思うことだってある”とのフレーズで、人生において生活上の困難・ストレスに直面することはあり、その場合には1人で悩まず誰かに助けを求めて欲しいことと、その場合の対処法を支援するような内容とした。

【具体的な内容・実施の過程】

1. 「自殺予防対策ウェブサイト構築ワーキンググループ」の開催（平成23年度 3回）
構成員 長崎こども・女性・障害者支援センター所長、自死遺族代表、県内大学（情報メディア関係科）講師・学生、タウン誌編集者、ホームページ作成業者
2. ホームページ「みんなの情報交差点 カチッ！」開設 URL : <http://www.joho-kachi.jp>
(平成24年度)

コンテンツ内容：ホーム、当サイトについて（みんなの情報交差点カチッとは）、ワンクリック保健室、死にたくなるってどんな感じ、地元ながさき相談窓口、リンク集

- ・本ホームページは、長崎県長崎こども・女性・障害者支援センターが管理・運営している。
- ・全体的な内容構成は、「抱えている問題（自殺・うつ・借金等）への正しい情報の提供」、「地元相談窓口情報の提供」と「自殺に追い込まれる危機は誰にでも起こりうる危機であって、その場合には誰かに助けを求めてほしい。」という若者へのメッセージを伝えるという、大きくこの3本柱での組み立てとしている。
- ・若者のこころの支えとなるような「いのちの映像・ことば・本」「悩みを乗り越えた人の体験談」などの紹介と心理的視野狭窄や危機の進行度についてアニメーションを使ってわかりやすく解説する「死にたくなるってどんな感じ」どの内容も盛り込んでいる。

【成果】情報なし

【補足】情報なし

【課題】

- ・本ホームページは、平成25年2月に開設したばかりであり、今後、より多くの若者に本ホームページを活用していただくことが重要である。よって、今後は、アクセス状況の解析を含めたホームページの更新・管理を行うと共に、本ホームページの広報・周知について更に充実させていく必要がある。

【事業種別】 普及啓発事業

【準備期間・人数】 情報なし

【予防段階】 1次

【自治体規模】 1416千人

【自治体負担率】 0%

【事業対象】 長崎こども・女性・障害者支援センター所長、自死遺族代表、県内大学（情報メディア関係科）講師・学生、タウン誌編集者、ホームページ作成業者

【支援対象】 子ども・若年者

【実施主体・問合せ先】 長崎こども・女性・障害者支援センター

障害者支援部 精神保健福祉課

TEL:095-846-5115

E-mail:seiho-center@pref.nagasaki.lg.jp

URL : <http://www.pref.nagasaki.jp/section/na-shien-c/index.html>

【参考資料・文献】 <http://www.joho-kachi.jp/>